

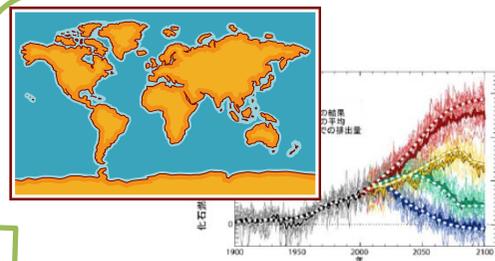
環境省環境研究総合推進費2-1402「わが国を中心とした温室効果ガスの長期削減目標に対応する緩和策の評価に関する研究」の国民との科学・技術対話シンポジウム

日本の排出削減目標議論の行方

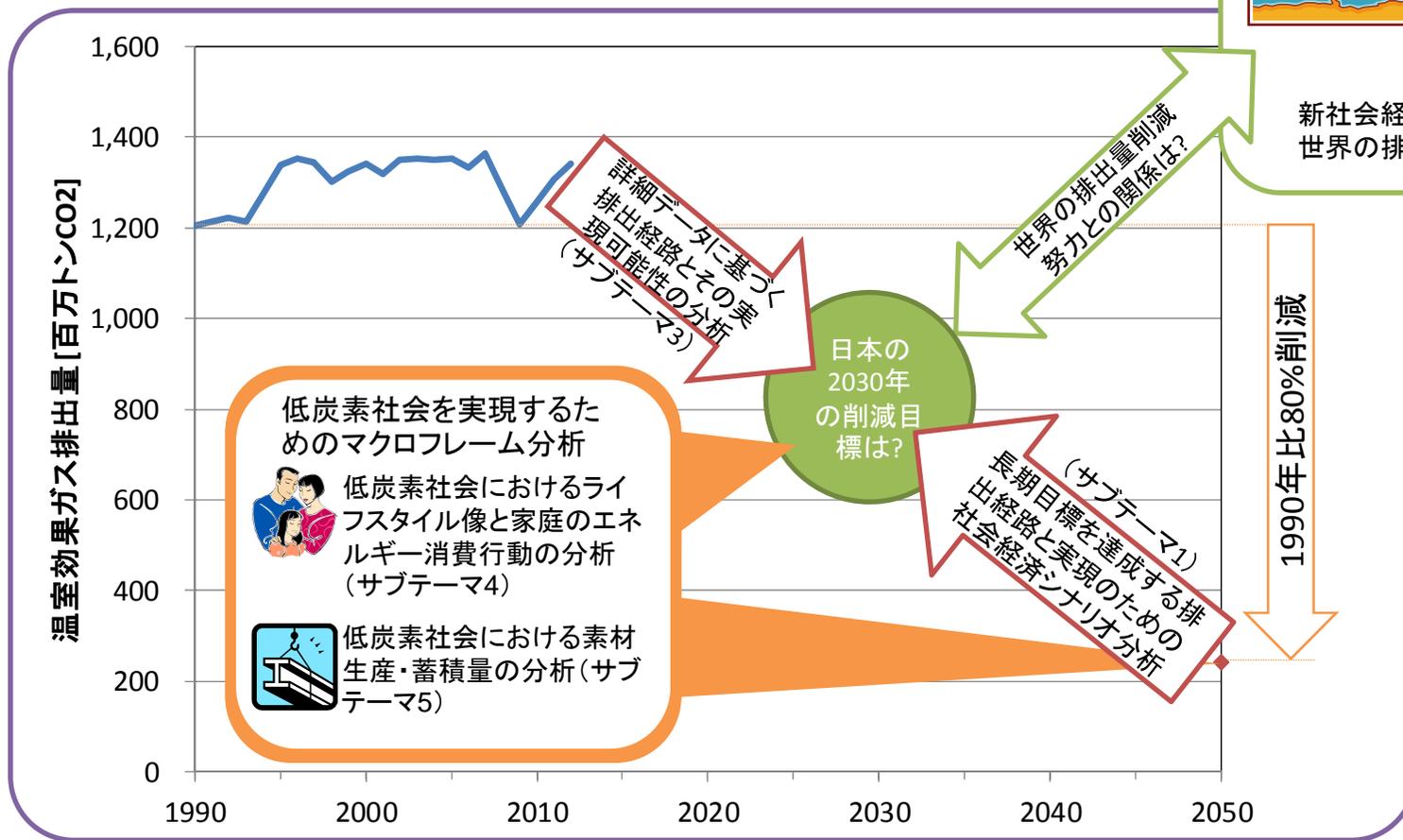
2015年4月8日(水) 14:00～16:30
東工大蔵前会館 1F くらまえホール

(2-1402) わが国を中心とした温室効果ガスの長期削減目標に 対応する緩和策の評価に関する研究

(国立研究開発法人国立環境研究所・みずほ情報総研株式会社・国立大学法人京都大学)



新社会経済シナリオ(SSPs)に基づく
世界の排出経路分析
(サブテーマ2)



達成目標: 低炭素で気候変動に柔軟に対応するシナリオづくり

- 低炭素社会実現のための社会経済シナリオやマクロフレームのあり方は?
- 2020年以降の世界及び日本の温室効果ガス排出経路は?
- 日本低炭素社会を実現するための産業構造やグリーン成長の姿とは?
- 低炭素社会実現のための社会の新たな発展パターンや社会・技術イノベーションの道筋は?



環境研究総合推進費2-1402シンポジウム 日本の排出削減目標議論の行方

- 14:00 開会挨拶と趣旨説明
芦名秀一(国立環境研究所:2-1402課題代表)
- 14:05 中央環境審議会 2020年以降の地球温暖化対策検討小委員会・産業構造審議会 約束草案検討ワーキンググループ 合同会合での議論について
藤野純一(国立環境研究所:合同会合委員)
- 14:20 これまでの排出削減目標のレビュー 東日本大震災以降の分析を中心に
歌川学(産業技術総合研究所)
- 14:35 2030年に向けた省エネ、再生可能エネルギー導入の可能性
槌屋治紀(システム技術研究所)
- 14:50 AIM(アジア太平洋統合モデル)による新しい試算結果(中間報告)
増井利彦(国立環境研究所:2-1402参画者)
- 15:05 約束草案の策定・評価に関する国際的な議論
明日香壽川(東北大学)
- (15:20 休憩)
- 15:30 登壇者によるパネルディスカッションとフロアからの質疑
- 16:30 閉会

本日のシンポジウムについて(1)

- 本日のシンポジウムでの発表、発言内容などは、各研究者個人の考えであり、所属機関や政府の公式見解ではありません。
- また、試算結果等も環境省等とは独立して実施した成果であり、必ずしも一致するものではありません。
- ご質問は、配布した質問用紙に記入ください。休憩時間中に回収し、パネルディスカッションにてお答えいたします。
- 本日の発表資料、及び時間の都合で回答できなかったものも含めたすべてのご質問に対する回答は、後日ウェブサイトにて公開いたします。

http://www-iam.nies.go.jp/aim/event_meeting/2015_indc/2015_indc_j.html

本日のシンポジウムについて(2)

- シンポジウムの様子について、IWJ(インディペンデント・ウェブ・ジャーナル)様の動画取材が入っております。
- リアルタイム中継ではなく、後日の動画配信となりますが、撮影等についてご了承ください。